



# 地域で子どもと 共に生きるとは

話したいこと  
はあるけど

怒らないで  
聞いて…



あのね…

講師

**中本 忠子** さん

(NPO 法人 食べて語ろう会 理事長)

**10 月 15 日(土)**

**13:00~15:30 (開場 12:30)**

福山市市民参画センター

5 階会議室

参加費 1,000 円

事前にお申込みください

## お申込・お問合せは…

認定 NPO 法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション  
(福山分室)

事務所携帯: 090-7998-6113

E-mail: [hiroshimachildline-f@adagio.ocn.ne.jp](mailto:hiroshimachildline-f@adagio.ocn.ne.jp)



## 【講師紹介】

息子さんの PTA 活動と保護司としての経験から、「満足に食べていないこと」と「親身になって相談に乗ってくれる人がいないこと」が子ども達を非行に走らせる原因だと気づき、子ども達に食事を提供する活動を始められました。

子ども達に「ぼっちゃん」と呼ばれ慕われています。

主催  
後援

認定 NPO 法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション  
福山市・福山市教育委員会・福山市社会福祉協議会・  
エフエムふくやま・中国新聞備後本社

# 18歳までの子ども自身がかける 子どものための専用電話

チャイルドラインは、子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちをありのままに受け止め、共感することによって、子どもの心を開放して自立を支えることを目的としています。

## ひろしまチャイルドラインでは…

2015年度 7,959件の子どもからの電話を受けました。

友達関係、いじめ、虐待や性の悩みや、あるいは話し相手として子ども達の多様な気持ちに寄り添い、受け止めてきました。

## 広島県内限定の「特設ライン」を開設しました。

1年間で398件の広島県内の子どもから電話を受けました。

チャイルドラインへ電話して、友達との関係がよくなった。といったお礼の電話もありました。

## 福山分室は11月で開設10周年を迎えます。

たくさんの方々に支えられて、福山市など広島県東部地区の子ども達へ責任をもってカードを届けること、そして誠実に電話の向こうの子どもと向き合ってきた10年でした。

この10年、変わらないことは子ども達の「私の話を聴いて欲しい」「私の事を理解して、認めて欲しい」といった気持ちではないでしょうか。

一方で、親や先生に対して「話したいことはあるけれど、心配をかけたくない」または「どうせ言っても無駄、聞いてくれない」などの声が電話を通して届いています。子ども達が大人に遠慮し、または諦めつつ、それでもチャイルドラインへと電話をかけられるのは、話を聴いて欲しいからなのだと私たちは感じています。

チャイルドラインでは子ども自身の気持ちを大切にすることを基本に据えています。そして話を聴いて欲しいと思っている子ども達の「心の居場所」になることを目指して活動を続けています。

チャイルドラインを子ども達にカードで知らせる  
チャイルドラインを社会全体で応援する環境づくりのために  
お一人おひとりのご支援をお願い申し上げます。



認定特定非営利活動法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション

住所：広島市中区八丁堀 7-11 広島 YMCA 気付

電話/FAX：082-233-8655

事務局携帯：090-7998-6113

HP：<http://www.hiroshima-childline.or.jp>

